



学校と家庭が連携して、道徳教育を推進していきたいと思えます。  
学校で行った道徳の授業についてお知らせいたします。家庭で話し合ってもらいたいことをもとに、お子様といろいろな話をして下さい。  
また、保護者の皆様の経験にもとづく話もできればとてもよいと思えます。  
よろしくお願いいたします。

## ★資料名

「あいさつ」

## ★今回の道徳の授業のねらい

基本的な挨拶の仕方を具体的に理解し、身近な人々といつも明るく接しようとする態度を育てます。

## ★お話のあらすじと内容

子どもたちは、いろいろな場面でのあいさつの挿絵を見ながら、聞こえてくるあいさつについて自由に話し合いました。また、あいさつをするときに大切にしたい気持ちを発表し合い、自分たちの日常のあいさつを振り返ったり、時と場合に応じたあいさつのあることを理解したりしました。新学期が始まったこの時期に正しいあいさつの仕方を身につけることは、基本的な生活習慣としてとても大切なことです。

## ★子どもたちの授業の様子

- ・昔までは挨拶を返すことができてなかったけど、今は大人の人にも挨拶ができるようになった。
- ・元気な挨拶ができています。  
などと、以前の自分と今の自分を比べたり、気持ちの良い挨拶ができていくかという教師の質問に自信をもって手を挙げたりしていました。

## ★家庭で話し合ってもらいたいこと

「あいさつ」や「はい」という返事は、幸福をもたらす「魔法のことば」といわれています。周囲の人たちを気持ちよくします。また、なによりも自分を前向きにします。このことが習慣になった子どもは、将来社会に出ても社会人としてよい人間関係をつくり、よい仕事をするといわれています。

このような習慣は、できるだけ小さいころから、親が子どもに範を示しながら、根気強く続けることによって身につきます。子どもが、「おはよう」とあいさつしたら、笑顔で受け止め、「おはよう」と返していただければと思います。